東高同窓会だより

長崎東高等学校　関西同窓会

第14号

2022年（令和4年）4月20日

編集発行人　手嶋　孝

第９回関西同窓会総会＆懇親会のご案内

元気にしとるね。またやるばい！ 関西同窓会

第９回長崎東高関西同窓会総会＆懇親会を下記日程で開催します。

◆日時：２０２２年６月１２日（日）13：00～15：00　受付開始12：00～

◆場所：大阪新阪急ホテル　花の間（２階）大阪市北区1-1-35　☎06-6372-5101

◆内容：第一部･･･活動報告

　　第二部･･･懇親会

◆会費：一般（男女共）8,500円（実費）　学生（男女共）2,000円

一昨年以来の新型コロナウイルスの蔓延により、同窓会総会・懇親会も２年間中止のやむなきに至りました。このままでは同窓会の存続すら危ぶまれるところです。そのため今年こそは、所要の感染防止対策を講じるならば、規模を縮小するかたちではあっても何とか開催できないものかと模索を続けました。そのうえで、新型コロナウイルスに対する知見や感染症対策も進み社会活動回復の期待も見られるところから、開催に踏み切ることといたしました。

もちろん直前になって延期または中止すべき事態に至ることも想定されますので、予めお含みいただきたく存じます。

今年こそは久しぶりに皆様とお会いできるよう切に願っています。　　長崎東高関西同窓会会長　平幸治

第１回　設立総会・懇親会（2012年11月4日）

会則と役員が全会一致で承認され、関西同窓会が正式に発足しました。

初代・三田村会長（１０回生）の挨拶と設立に立ち会った１５０名を超える同窓生

第６回（2017年11月19日）

肩を組んでの校歌大合唱

第７回（2018年11月4日）

”UFO”も参入しての盛り上がり

第８回（2019年11月17日）

もってこーい！長崎弁

関西同窓会ホームページ

WEBサイト

http://higashikansai.sakura.ne.jp

yahoo、Googleなどから

「長崎東高関西同窓会」

を入力して検索してください

＜ご寄付のお願い＞

関西同窓会の運営費は皆様の寄付金によって賄われています。皆様の温かいご支援をよろしくお願い致します。

＜問合わせ先＞事務局　泉田豊彦（@24）携帯：090-3966-2464

E-mail：jmkeast@higashikansai.sakura.ne.jp

特集『どがんしとっと！同窓生駅伝』　同窓生１０１名が襷を繋いだ！

新型コロナウイルス感染症の蔓延により同窓会活動は大きな制約を受けています。今こそ関西同窓会設立の意義を思い返し、同窓会が皆様の思いを繋ぎ支える存在でありたいと願いつつ、今できることとして、ホームページ上で会員皆様方の思いや近況などを発信・交流する新しいコーナーを企画したのは昨年の２月。以来、なんと、１年間に渡って、４回生から７３回生までの１０１名が「東高時代の思い出」、「関西同窓会と私」、「今はまっていること」、「コロナと私」など思い思いのテーマでエッセイの襷を繋ぎました。一人一人の読み応えのあるエッセイは、長崎東高関西同窓会のホームページに掲載していますので、是非ご一読ください。ここでは、どのように襷が繋がったのかを記録に残したくその繋がりの系譜を掲載します。同期生繋がりや先輩から後輩へ後輩から先輩へ、それぞれの思いが詰まっています。

Start

№1 長岳宏樹@ 25
№2 犬塚るみ子@25
№3 松尾誠人@24
№4 原　敬介@25
№5 松崎　隆@25
№6 三田村嘉也@10
№7 中嶋新太郎@26
№8 赤崎康雄@30
№9 永尾好輝@27
№10 森　和美@34
№11 西村サナミ@24
№12 伊藤晶子@24
№13 林由紀子@4
№14 村井謙介@19
№15 前川拓人@68
№16 西坂満正@44
№17 入口円香@37
№18 伊藤蔦江@37
№19 青木裕子@23
№20 田部　実@23
№21 鳥山賢治@21
№22 手嶋　孝@23
№23 林田一徳@32
№24 佐藤泰信@24
№25 多田哲也@25
№26 宮原知寿子@25
№27 長田正子@25
№28 太田澄子@19
№29 喜田信代@19
№30 峯　隆俊@19
№31 高　秋夫@19
№32 小菅正弘@7
№33 溝上玄祐@10
№34 小淵廣利@17
№35 森田一夫基@17
№36 平山　良@22
№37 藤城　隆@11
№38 後藤博一@12
№39 山口隆雄@13
№40 近藤芳民@13
№41 後町伸子@13
№42 梅木敬治@19
№43 泉田豊彦@24
№44 松田研二@24
№45 藤重　茂@27
№46 野崎義規@27
№47 池田志成@72
№48 岡村さにい@72
№49 森島奈央@72
№50 山崎博美@37
№51 太田康美@19
№52 松本素子@19
№53 楠本　茂@19
№54 波多野　徹@19
№55 山口一守@45
№56 入江泰生@72
№57 三浦功奨@72
№58 小田原光輝@72
№59 尾上柊人@73
№60八尾裕大@73
№61 田口佳南@73
№62 布野　悠@65
№63 新開　潔@23
№64 松尾由美@31
№65 倉田博幸@25
№66 寒川千恵子@25
№67 桑原　進@19
№68 武藤健治@19
№69 宮崎俊博@19
№70 小林　務@30
№71 三浦直樹@36
№72 鈴木里彩@72
№73 長谷川由衣@72
№74 森重美優@72
№75 小林美紅@73
№76 岩永菜月@73
№77 藤谷朋子@73
№78 吉田隆明@26
№79 田浦秀昭@20
№80 宮崎逸朗@20
№81 西井由紀子@20
№82 村中亜衣@73
№83 芳田栄二@42
№84 長田幸輝@72
№85 川原　隼@73
№86 田中康二朗@73
№87 岩永周太郎@73
№88 松下暁@50
№89 横山恵理@51
№90 武藤里奈@72
№91 佐々田悠矢@72
№92 豊田雅人@72
№93 小西里咲@72
№94 梅田智子@28
№95 土肥原弘久@28
№96 宮良　学@28
№97 恒任孝明@72
№98 白水未春@72
№99 大津谷正和@19
№100 福地定義@19
№101 平　幸治@15

Goal

１～９回生
１０～１９回生
２０～２９回生
３０～３９回生
４０～４９回生
５０～５９回生
６０～６９回生
７０～７３回生

タスキを繋いでいただいた皆様、そして閲覧していただいた皆様、本当にありがとうございました。また投稿打合せの際に近況や思いなどをたくさんの方々からお伺いできたことは関西同窓会の今後の発展を肌で感じることができました。中でも、一昨年、昨年と関西に進学された２６名の学生さん全員が参加されたことも私たちに希望の光を与えてくれました。

一日も早いコロナの終息とともに、同窓会活動の力強い継続を願い編集後記といたします。感謝！福地定義（１９回生）

（＊福地さんは投稿の打合せ、編集、HPへの掲載、会員へのアナウンスなど、本企画の運営に当たられました。）

◆◆活動報告◆◆

常任幹事会

新型コロナ感染症の度重なる拡大により関西同窓会常任幹事会も多大な影響を受け、およそ１年間対面形式のミーティングを開催することができませんでした。検討課題が山積している中、決議機関としての活動が滞る場面も度々ありました。

そこで、昨年３月からウェブ会議アプリZOOMを使ったオンライン常任幹事会が立ち上がり、諸活動の今後の進め方など課題の検討が対面形式とWEBサイト形式の両面で進められるようになりました。

検討内容については随時ホームページにて公開していますのでご確認ください。

関西さるく会

関西同窓会全体としてのさるく会活動は、新型コロナウイルス感染状況により毎月実施の可否を判断していますが、２０２０年１月の伏見大社初詣さるくを最後に以降中止が続いています。

●地域さるく会：地域限定、コース限定、感染予防を徹底した上で有志が集まりました。
レポートを関西さる会の＜参考＞としてホームページに掲載しています。

- ２０２１年　３月２８日　奈良・佐保川さるく
- ２０２１年　７月２５日　京都・向日市さるく
- ２０２１年　８月２２日　奈良・奈良公園庭園さるく
- ２０２１年　９月２６日　奈良・彼岸花の里さるく
- ２０２１年１０月２４日　京都・松尾大社～嵐山さるく
- ２０２１年１１月２８日　京都・岩船寺・浄瑠璃寺さるく
- ２０２１年１２月１９日　京都・哲学の道さるく
- ２０２２年　３月２７日　奈良・耳成山・藤原宮跡さるく

佐保川さるく

向日市さるく

松尾大社～嵐山

浄瑠璃寺

藤原京跡

ゴルフ同好会：関西ナイスショット＆ファーの会

２０２２年３月５日に第１３回をゴルフコンペを兵庫県川西市の「山の原ゴルフクラブ」で開催しました。新型コロナウイルス感染により２０１９年１１月以来の開催です。１０名がエントリー。この２年間は“計画しては中止”を繰り返していましたが、「まん延防止措置期間」とはいえ、屋外でのプレーでもあり今回は実施に踏み切りました。数日前の寒さから一変して気温も高く、強風と最後には雨もぱらついたものの、皆さん和気藹々とプレーを楽しんでおりました。優勝は多田さん（２５回生）・準優勝は平山さん（２２回生）特筆すべきは、８０歳を超えられている永尾さん（９回生）・藤城さん（１１回生）。ご両人ともグロスで９０台前半のスコア。いやはや我々も負けられません。次回は、１０月か１１月に平日での開催を予定しております。（@２６中嶋）

ボウリング同好会

コロナ感染症が小康状態となった２０２１年１１月６日に第６回ボウリング大会を実施しました。２０２０年２月に実施して以来の久々の開催です。１９回生から３６回生までの有志１１名が集まりました。今回の優勝は４連続ストライクを含め手堅くスコアをまとめた２５回生の長岳さん。

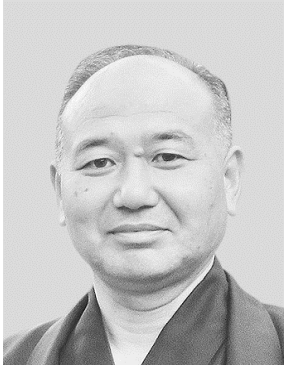
写真クラブ

展示会、撮影会、勉強会など自粛中

回生の活動

１９回生有志の方々は、「関西トークの会」を定期的に開催され、時の話題や近況報告などで毎回親交を深め、会話を楽しんでいます。第２回2021.6.18、第３回2021.8.19、第４回2021.10.19、第５回2021.12.17

東風ら関西　［こちらかんさい］



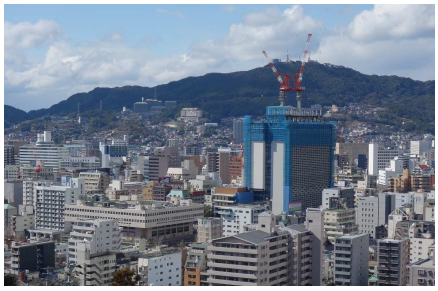
「ふるさと長崎の近況」　　第２８回生　土肥原弘久

我々第２８回生は、西山校舎最後の卒業生です。諏訪神社下から富貴樓の前を通って、片側１車線の狭いバス道路を通って母校まで通ったことが思い出されます。昭和５１年３月卒業、母校はこの年の夏に立山に移転しました。西山校舎は、昭和５年に県立長崎高等女学校として建てられたもの。近世ゴシック式鉄筋コンクリート造で、戦時中は防空のため黒く塗られていたと聞きます。１年生が４階、２年生が３階、３年生が２階、１階と図書館棟の教室を使っていました。校門を入ると蘇鉄の植込みがあり、校舎には土足で入りました。廊下のワックスの匂いが懐かしく思い出されます。在校中、体育の授業で、建設中の新校舎を見学に立山まで登った記憶があります。現在の私は、長崎市長崎学研究所長を最後に定年退職して、ＫＴＮテレビ長崎のくんち解説者やＮＨＫラジオのレポーターを務めながら、年中行事を中心に長崎の歴史文化について調査研究を行っています。

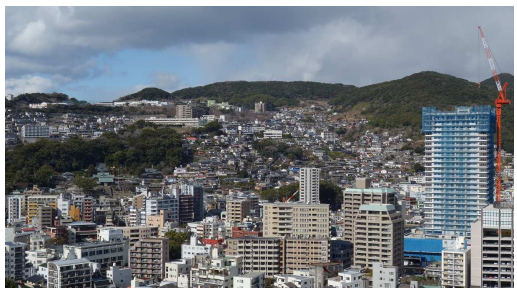
さて、長崎は近年、建設ラッシュです。県庁の魚市跡移転を皮切りに、長崎駅の建替え、今秋には西九州新幹線「かもめ」が運航開始。新長崎駅西側には、昨秋竣工した出島メッセ（国際会議場）、ヒルトンホテル、上町から移転のＮＢＣ長崎放送の新社屋、桶屋町から移った長崎警察署の新庁舎が並んでいます。さらに、近くの三菱重工幸町工場跡にはサッカー場やアリーナ、ホテルの複合施設が２年後の完成を目指して建設が始まり、野母崎地区には恐竜博物館が昨年１１月にオープンしました。魚の町の長崎市公会堂跡には来年１月竣工予定で、長崎市役所の新庁舎が建設中です。１９階建ての高層ビルで、周辺の景観は一変することになりそうです。

母校のお膝元でも、新大工町の再開発で長崎玉屋跡に２６階建の高層マンションが今年秋に完成予定。松森神社隣にあった料亭・富貴樓や眼鏡橋近くの老舗・江崎べっ甲店も姿を消してこちらもマンション建設、一方、街を囲む斜面地は空き家が目立ちます。受験時代に通った諏訪の杜の県立長崎図書館は大村市に移転して、今春、跡地に長崎の歴史文化資料に特化した郷土資料センターが開館しました。

郷土資料センター



建設中の長崎市役所新庁舎



左後方：母校（立山校舎）
右手前：玉屋跡地に建設中の高層マンション

開港４５０周年を迎えた昨年、諏訪神社近く（玉園町）の唐寺・聖福寺は、本堂や山門など４件の重要文化財の改修事業が始まりました。総工費１０億円、工期１０年の大事業で、これからまだ１億５千万円の資金を集めなければなりません。この事業が完成する頃、長崎の街と人々の営みがどのようになっているのでしょうか。

「時代に即したものはすぐに廃れる」と言います。このように建設工事が進み、新しい施設が次々に生まれている長崎ですが、どんなに街のあり様や風景が変わろうと、くんち文化、キリスト教文化、華僑文化が共存し、互いに尊重しながら干渉はしない独特の精神文化はいつまでも変わらないでほしいと考えています。

長崎の街も新型コロナウイルス流行の影響は甚大で、長崎くんちは神輿と奉納踊が２年連続で取り止めとなり、神事のみが執り行われました。本来なら一昨年に当番を務めるはずだった神輿守町、踊町の皆さんはすでに２年間、出番を待っています。これらの奉納踊には、お馴染みの万屋町「鯨の汐吹き」や栄町「オランダ万才」が含まれます。この会報が出るころには今年の動向がわかっているでしょう。お盆の精霊流しも感染対策で大幅に船の数が減少しました。町内で出す「もやい船」の製作を見送る、船の小型化や構造の簡素化による担ぎ手を少人数にする、精霊船を止めトラックによる精霊自動車を出すなど様々な工夫がなされていました。このように年中行事は軒並み中止や簡素化で、感染症の波を耐え忍んでいます。今後、感染対策の見通しがつき、以前のように、みなさんが気軽に長崎を訪れることができるように願っています。

長崎くんちや精霊流しについて、その歴史や仕組みとともに記録にまとめました。『長崎くんち奉納踊の軌跡』『長崎精霊流し改訂版』はじめ関連書籍を発刊しています。お求めは、好文堂書店オンラインショップ095-823-7171

＜編集後記＞　２年連続で中止になった総会・懇親会。今年こそはとの思いで実施に向けて準備が進められています。新型コロナが終息して、皆様と久しぶりに対面でお会いしたいと願っています。土肥原弘久さんは、「どがんしとっと　同窓生駅伝」の№９５にもご登場いただきました。長崎の玄関口、長崎駅界隈の大開発など長崎市は大きく変わりつつあるようですね。でも、長崎の文化は永く残してもらいたいものです。同窓生駅伝は１０１名の同窓生が近況報告などのエッセイで繋がりました。それぞれの思いが詰め込まれていて読み応えがあります。